

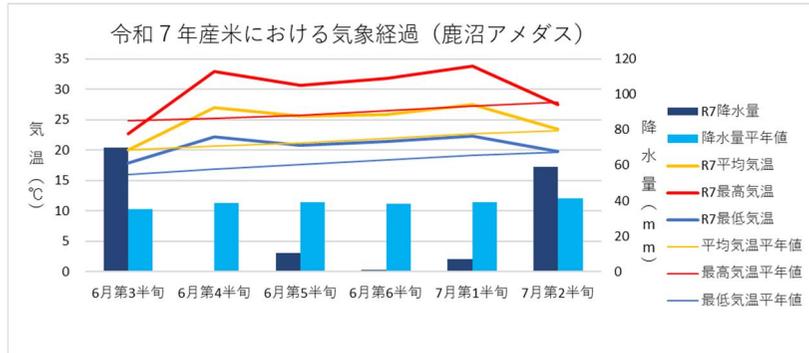
# 令和7(2025)年産 水稻生育診断速報第4号

令和 7(2025)年7月 14 日  
上都賀農業振興事務所

- 高温の影響で稲の生育が進んでいるため、出穂は昨年並みに早まりそうです。
- 葉色が淡いほ場では、玄米品質を確保するため、追肥を行いましょ。
- 出穂が早まるため、斑点米カメムシ類の防除を逃さないようにしましょ。(管内でイネカメムシを確認しました。)

## 気象経過(鹿沼アメダス)

2025年6月第3～7月第2半旬の気温は高く、降水量は6月第3半旬と7月第2半旬で多くなったものの、期間を通じて64%と空梅雨ぎみに推移しました。(7月9日現在)



## 調査結果の概要(コシヒカリ)

過去の平均と比べ、草丈は「長く」、茎数は「少なく」、葉色は「淡く」、幼穂長「長い」状況でした。(調査データ)

表1 令和7年産生育診断は調査結果と過去の平均との比較

調査地点	項目	草丈 cm	茎数 本/m <sup>2</sup>	1株茎数 本/株	葉齢	葉色板		幼穂長 cm
						葉色板	SPAD	
日光市木和田島	今年	87.1	397.0	21.0	12.3	2.8	34.7	2.8
	過去5年平均	73.8	501.4	25.9	11.3	3.1	31.8	1.2
	平均値との差	13.3	-104.4	-4.9	1.0	-0.3	2.9	1.6
鹿沼市久野	今年	85.1	352.0	22.0	12.3	2.9	36.1	6.7
	過去4年平均	75.7	442.5	26.6	11.6	4.2	38.5	1.3
	平均値との差	9.4	-90.5	-4.6	0.7	-1.3	-2.4	5.4

※鹿沼市久野はR2～5の4カ年平均

## 幼穂長から予測される出穂期

調査地点	幼穂長	出穂期	昨年出穂期
日光市木和田島	2.8cm	7/21	7/21
鹿沼市久野	6.7cm	7/18	7/23

## 今後の技術対策

### (1) 水管理

連休時に田植えしたほ場では、現在穂ばらみ期となり、茎の中で幼穂が大きく伸長しています。稲の生育の中で最も水を必要とする時期の一つです。水が不足しないよう、かん水を行いましょ。

### (2) 追肥

葉色が淡いほ場では、玄米品質を低下させないために、出穂前5日(走り穂が出る頃)の止葉の葉色がSPAD値で[34]以下、葉色板で3を下回ってれば、速効性の窒素肥料(硫安など)で窒素成分で2～3kg/10aの追肥を行いましょ。

### (3) 斑点米カメムシ類の防除

今年は出穂が早まる事が予想されるので、草刈りや薬剤散布のタイミングを逸さないように気をつけましょ。



写真1 日光市木和田島



写真2 鹿沼市久野 (写真1、2ともに7/7撮影)

## 斑点米カメムシ類に注意！！

県内全域で斑点米カメムシ類の発生が多くなると予想されています。

(6/26 植物防疫ニュース No.8、7/8 注意報第2号)

また、出穂期が昨年並みに早まりそうなので、畦畔の除草や薬剤散布のタイミングを逃さないようにしましょう！。

### 1 今年の発生状況

粘着トラップとすくい取りで、カメムシ類のモニタリングを行っています。上都賀地域では雑草地や畦畔だけではなく、すでに本田への飛び込みも確認されています。

表2 斑点米カメムシ類のモニタリング状況

調査地点	調査方法	クモヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	その他カメムシ
日光市木和田島	6/30-7/7粘着板	4	0	0
	7/9すくい取り	3	0	0
鹿沼市久野	6/30-7/7粘着板	0	1	0
	7/9すくい取り	0	0	0
日光市内雑草地	7/3すくい取り	331	15	13

写真3 上都賀地域の主なカメムシ類



(左上:クモヘリカメムシ、  
 右上:ホソハリカメムシ、  
 左下:アカスジカスミカメ、  
 右下:イネホソミドリカスミカメ)  
 (写真提供:農業総合研究センター)

写真4 日光市内雑草地での発生状況(7/3 すくい取り調査)



左:クモヘリカメムシ 331 頭  
 中央:ホソハリカメムシ 15 頭  
 右:アカスジカスミカメ、アカゲホソミドリカスミカメ

計 13 頭

### 2 イネカメムシの発生を確認！

昨年、県南部を中心に多発したイネカメムシを **7/10 鹿沼市内(旧粟野地区)の畦畔で確認しました。**イネカメムシは斑点米の発生に加え、多発すると不稔を引き起こし減収となります。ほ場を見回って、イネカメムシがいる場合は、出穂期に防除を行ってください。

写真5 イネカメムシ



### 3 斑点米の発生を防ぐ対策

稲を加害するカメムシ類には、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカスジカスミカメ、イネホソミドリカスミカメ等があります。**すでに雑草地や畦畔で発生を確認しており、防除対策を行ってください。**

**上都賀地域でもイネカメムシの発生を確認しており、注意が必要です！**

防除対策	除草	水田内 畦畔等	ヒエ、イヌホタルイの除草 2回の草刈り(①水稻の出穂2~3週間前、 ②水稻の出穂期) やむを得ず1回の場合は、出穂 10 日前までに行う
	薬剤防除		1回目:水稻の出穂期~出穂10日後 2回目:1回目から 7~10 日後 3回目:2回目から7日後(多発地域や発生が多い年)

カメムシ類の最新情報や病害虫の発生情報は、以下のサイトを参照してください。

栃木県カメムシ  
防除作戦特設サイト



栃木県農業総合研究センター  
病害虫発生予察情報

